

Info&Report 編 第2回小・中学生指導連絡協議会



6月23日(金)、第2回「小・中学校生徒指導連絡協議会」を行いました。

各校の生徒指導主事に年4回集まっていたいただき、講演と情報交換を行っています。



今回は、滑川警察署及び県警察本部の方から、県内の少年犯罪の実情を教えてくださいました。最近は大麻やSNSに端を発する事件が県内でも増えていること、そのため、これまで以上に低年齢からの教育が必要になってきているそうです。また、いじめ事案も含めて、学校と警察が連携していく大切さもうかがいました。



会の後半は、中学校区別の情報交換会を行いました。この春、中学校に進学した中学1年生の様子や、各校の6月の様子、生徒指導事例への対応の仕方など、各校それぞれの諸問題に対し、互いに助言し合いながら、よりよい解決策を考える時間となりました。

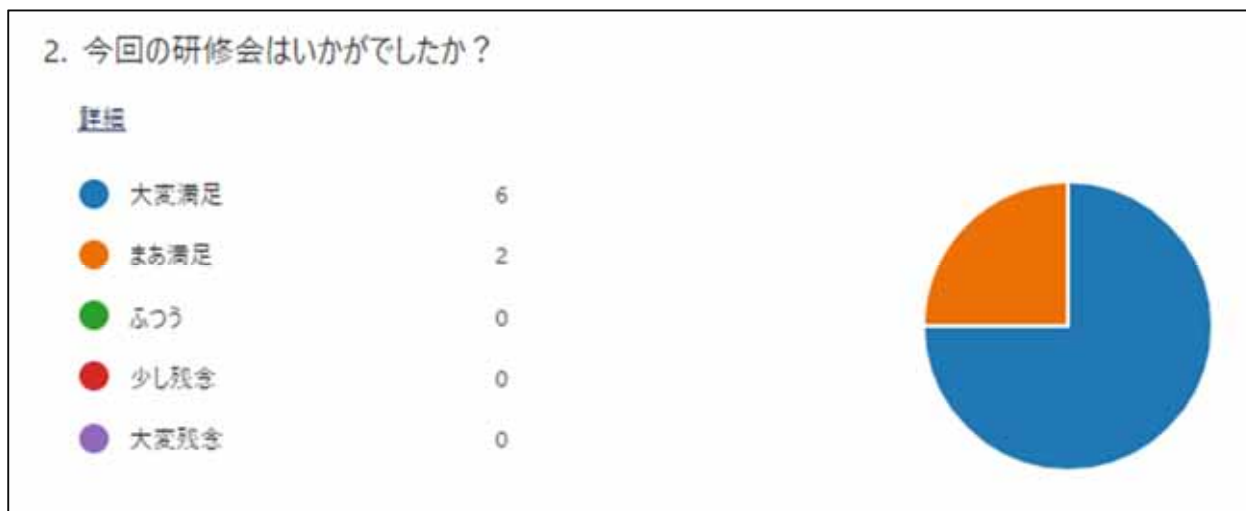
話し合いの中で、各校で行われている生活アンケート(いじめアンケート)の様式や項目に違いがあることが話題となり、一度、本会の中で互いに見合うこととなりました。



このように、生徒指導連絡協議会は、各校の経験や情報を出し合い、歩調を一つにして、生徒指導にあたっています。

各校の先生方の中で、自分のクラスの児童生徒のことで悩んでおられるようであれば、ぜひ、生徒指導主事に話してみてください。きっと前向きなアドバイスが返ってきますよ。

<研修会後のアンケートより>



感想

本日はお疲れ様でした。
話題にも出ていましたが、「いじめアンケート」を持ち寄って、情報交換をしたいと思います。
教育相談アンケートについて、他校の情報を知り、自校の方法を見直すきっかけとなったのでよかったです。
県下の犯罪についても具体的に教えていただきました。低年齢化が深刻なので、小学校でも起こりうる可能性があることとして認識します。
有意義な生徒指導連絡協議会でした。
市内の非行等の情勢について、もう少し具体的にお話しいただきたい。
リアルなお話をプロからお聞きできる機会は大変貴重です。明日からの業務に生かしたいと思いますし、生徒指導部の仲間と共有したいと思います。ありがとうございました。今後もよろしくお願いします。
各校の生活アンケートに関心があるのでぜひ共有できたらと思います。また、面談の時間がなかなか確保できない状況なのでどのように教育相談を進めているか知りたいです。
いじめの定義(具体例)、いじめ認知件数の数え方について、市の方針等を明確にいただけると学校としても動きやすいと思います。よろしくお願いします。